

「住み慣れた街でいつまでも —認知症の人と家族にやさしいまち東京—」

認知症になっても、自分らしく住み慣れた街で安心して暮らしていきたい。認知症のご本人、そしてご家族のその願いを支えるために、東京都多職種連携連絡会では、医療介護福祉の多職種で集まり議論を重ねて『住み慣れた街でいつまでも—認知症の人と家族にやさしいまち東京—』と題した冊子をまとめました。

今回、認知症への理解を深め、医療介護福祉オール東京のメンバーそれぞれの専門分野でできることを、都民の皆さまにお伝えし、関係者同士で共有するために、シンポジウムを開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成30年3月21日（水曜・祝日）13:00～16:00（12:00 受付開始）
会 場：東京都医師会館 2階講堂（裏面地図参照）
対 象 者：都民 及び 医療介護福祉関係者、行政職員 等
参 加 費：無料
定 員：250名程度（先着順）*定員に達した場合に限りお申込をお断りする場合がございます。



プログラム

司会 渡辺 象（東京都医師会 理事）

13:00～13:10	開会・挨拶	(10分)
	・尾崎 治夫（東京都医師会 会長） 成田 友代（東京都福祉保健局 医療改革推進担当部長）	
13:10～13:50	基調講演 「「認知症とともに、生きる」～私の大切なもの～」	(40分)
	・講師 藤田 和子（日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事） 水谷 佳子（のぞみメモリークリニック 看護師・認知症当事者の会 事務局） ・座長 平川 博之（東京都医師会 副会長）	
13:50～14:10	寸劇 「認知症は不便だけど不幸じゃない」	(20分)
	・劇団たしよく（東京都多職種連携連絡会委員有志）	
14:10～14:25	休憩	(15分)
14:25～15:55	パネルディスカッション 「ひとり暮らしで認知症になっても住み慣れた街でいつまでも」	(90分)
	・座長 西田 伸一（東京都医師会 理事） ・パネリスト 発表各8分×6、討論40分 渡辺 象（東京都医師会 理事） 高岡 里佳（東京都介護支援専門員研究協議会 副理事長） 川崎 裕彰（東京社会福祉士会 地域包括支援センター委員） 椎名 美恵子（東京都訪問看護ステーション協会 会長） 竹原 敦（東京都作業療法士会 認知症の人と家族の生活支援委員長） 大野 教子（認知症の人と家族の会東京都支部 代表）	
15:55～16:00	挨拶・閉会	(5分)
	・森久保 雅道（東京都医師会 理事）	

（申込方法）

裏面の参加申込書 兼 参加票にご記入いただき、
FAXにてお申込みの上、当日ご持参下さい。

FAX: 03-3292-7097 締め切り: 3月9日(金)

（問合せ・申込先）

公益社団法人 東京都医師会 医療介護福祉課
〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5

電話：03-3294-8835

FAX：03-3292-7097